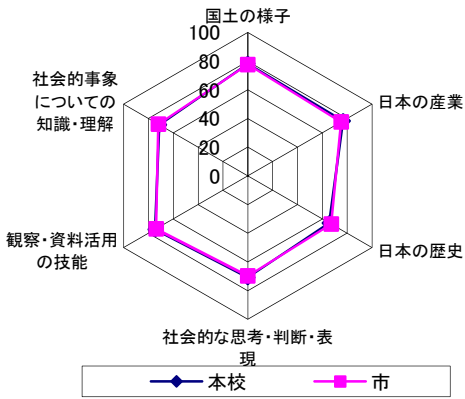


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	78.2	77.6	77.6
	日本の産業	76.7	75.1	67.5
	日本の歴史	65.6	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	70.8	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	74.5	73.8	68.5
	社会的事象についての知識・理解	71.2	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・ 正答率は78. 2%で宇都宮市の平均正答率より0. 6ポイント上回っている。「日本を通る台風の数を示したグラフの把握」「地域のくらしのくふう」は市の平均を上回ったが、「日本周辺の海洋名」や「日本の国土の位置」の理解は、市の平均を下回った。	・ 学習活動中に、意図的に世界の中の日本の位置や海洋名にふれ、正確な知識をもてるよう指導する。 ・ 「日本とつながりの深い国々」の学習の中で、他国と日本の位置関係を学習させる。
日本の産業	・ 正答率は76. 7%で宇都宮市の平均正答率より1. 6ポイント上回っている。「日本の工業生産」はすべての設問で市の平均を上回ったが、「日本の食料生産」に関する資料の読み取りは、市の平均を下回った。	・ 資料やグラフから読み取る学習を多く取り入れる。 ・ グラフを読み取る際の重要語句を繰り返し指導する。
日本の歴史	・ 正答率は65. 6%で宇都宮市の平均正答率より1.6ポイント下回っている。「江戸の様子と東京の様子の比較」や「明治時代に活躍した人物の業績」は市の平均を上回ったが、「鎌倉時代から室町時代に関しての資料の考察」や「書院造の特徴の具体的表現」は、市の平均を下回った。	・ 歴史上の出来事を1つの事象としてとらえるのではなく、原因と結果の連続であることを意識させる指導をしていく。 ・ 資料を読み取ったり、読み取ったことを表現させたりする活動を意図的に取り入れる。